

## 金沢区福浦地区の護岸の復旧について ～復旧方針をとりまとめました～

令和元年台風 15 号による高波により被災した護岸の復旧について、本日、開催した第 2 回横浜港護岸復旧工法検討会で議論し、福浦地区の護岸復旧方針をとりまとめたため、お知らせします。

詳細は次頁をご覧ください。

### <参考：第 2 回検討会の概要>

日 時：令和元年 11 月 26 日（火）10 時～11 時 15 分

場 所：産業貿易センタービル 6 階 横浜市港湾局第一会議室

委 員：別紙のとおり

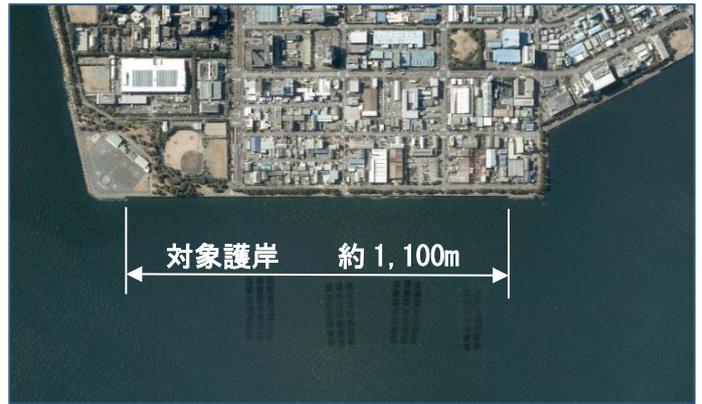
- 内 容：1 本日の検討対象  
2 国の高波対策検討委員会（第 2 回）の主なポイント  
3 福浦地区の復旧方針  
4 今後の検討事項

その他：検討会の資料については、横浜市のホームページに掲載しています。

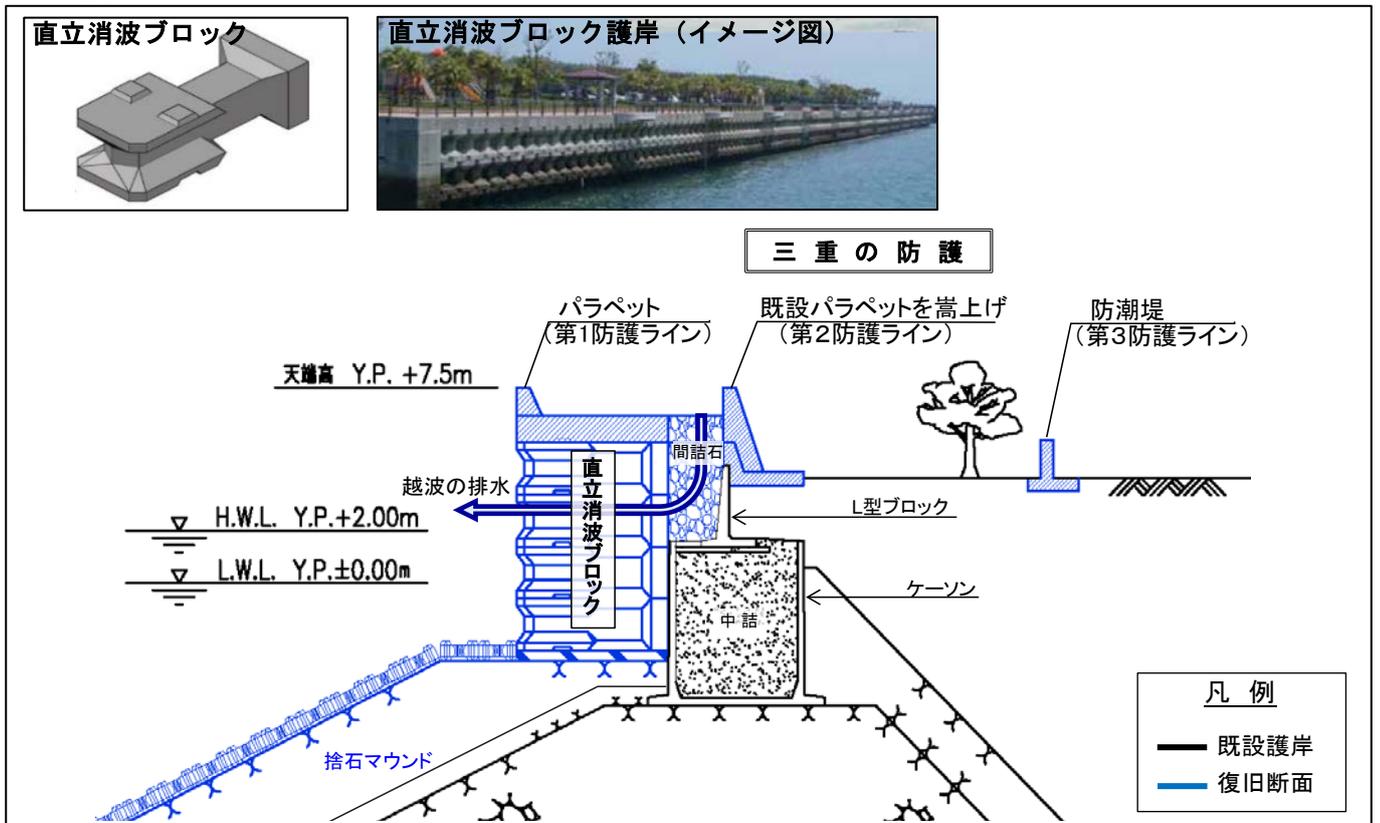
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/kikikanri/gogankentoukai.html>

| お問合わせ先    |       |                  |
|-----------|-------|------------------|
| 港湾局政策調整課長 | 成田 公誠 | Tel 045-671-2877 |

# 1. 対象位置



# 2. 復旧断面



# 3. 主な特徴等

- ・ 既設護岸前面に直立消波ブロックとパラペットを設置し、考え得る最大級の高波を防護します。(第1防護ライン)
- ・ 既設護岸のパラペットを嵩上げし、波しぶきを防護し排水します。(第2防護ライン)
- ・ 台風19号による浸水を食い止めた実績を踏まえ、緑地の道路側に防潮堤を設置します。(第3防護ライン)
- ・ 令和2年の台風シーズン前までに直立消波ブロック設置、既設パラペットの嵩上げ等を概成できるよう取り組みます。
- ・ 本牧等その他の地区についても、福浦地区の設計波算定の検討方法を踏まえ、復旧対応を進めていきます。

## 「横浜港護岸復旧工法検討会」

## 委員構成

(敬称略)

|     | 氏名     | 所属  |
|-----|--------|---|
| 委員長 | 鈴木 崇之  | 横浜国立大学大学院<br>都市イノベーション研究院 准教授                 |
| 委員  | 鈴木 高二朗 | (国研)海上・港湾・航空技術研究所<br>海洋研究領域 耐波研究グループ長         |
| 〃   | 加藤 絵万  | (国研)海上・港湾・航空技術研究所<br>構造研究領域 構造研究グループ長         |
| 〃   | 本多 和彦  | 国土交通省 国土技術政策総合研究所<br>沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室 主任研究官 |
| 〃   | 浅見 尚史  | 国土交通省 港湾局<br>海岸・防災課 海岸・防災企画官                  |
| 〃   | 森 信哉   | 国土交通省 関東地方整備局<br>港湾空港部長                       |
| 〃   | 野口 孝俊  | 国土交通省 関東地方整備局<br>横浜港湾空港技術調査事務所長               |
| 〃   | 新保 康裕  | 横浜市 港湾局<br>政策調整部 担当部長                         |
| 〃   | 河村 義秀  | 横浜市 港湾局<br>港湾管財部長                             |
| 〃   | 厨川 研二  | 横浜市 港湾局<br>建設保全部長                             |